

令和5年(2023)7月 『蛍の祭礼』

6月4日午後7時、松子の田んぼで一宮ネイチャークラブ主催のホタル観察会を開催。

ゲンジボタルとヘイケボタルの違いや雌雄の見分け方などの説明を受けてから、二手に分かれて歩きながらホタルの観察をしました。

辺りが暗くなると、ピカ〜ピカ〜とゲンジボタルが舞いながら光りはじめました。皆一定の周期で光るので、来た道を振り返って見ると、まるでイルミネーションさながらの息を飲むような光景が広がっていました。足元に目を凝らすとヘイケボタルもチカチカと光っています。

さて、このホタルたち、光っているのは繁殖のためです。

ゲンジボタルは、発光器が二節光って飛び回っているのがオス、体はオスより大きくても、発光器が一節で弱い光なのがメス。たった二週間ほどの成虫の期間に、光る間隔の違いで同種の相手を見つけ、次の世代に命をつなぎます。

今年も松子の里の水辺にしっかり卵が産めたでしょうか？卵からかえった幼虫がお腹いっぱいカワニナを食べることのできる環境が続くでしょうか？

心配は尽きませんがホタルの幸せを願った一晩でした。

<問合せ先>

増田 090-8045-0606 吉田 090-5317-9738

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！

